

2026 年度事業計画

1. 基本方針

南町田グランベリーパークにおいて、公園、商業施設、パークライフ・サイト（以下、まとめて「3施設」とする。）という、まちの3つの機能が連携しながら、まち全体を楽しく使いこなし、まちのブランディング・活性化に資する活動に積極的に取り組むことで、南町田ならではの”みどり“と”にぎわい“が融合したパークライフをより魅力的なものに醸成していくことが期待される。

2026 年度は、マネジメント会議をはじめとする3施設の連携体制を見直し、より効率的かつ効果的に運営する。また、引き続き地域プレイヤーの受け皿を広げ、プラットフォームに関わることに可能性を感じる市民を増やすことで、将来の担い手の育成にも取り組む。

さらに、つまパーク大作戦をはじめとする資金助成対象事業の成長を踏まえ、地域企業等との協働を見据えた協賛スキームの在り方など、持続可能な資金収集に向けた検討を進める。

2. 2026 年度予定実施事業

（1）資金助成事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に対する資金助成を行う。また、資金助成対象事業の評価制度の運用を適宜見直しながら、3施設の運営主体がまち全体を使って実施するイベント等の活動内容をブラッシュアップさせていく。

（2）資金収集・管理事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に必要な資金収集を行い、管理する。

資金収集事業の一環として、南町田グランベリーパークの視察依頼に対応し、視察料を収受する。また、寄付金募集の周知や協賛スキーム等、継続して新たな資金収集の方策を検討する。

以上

【参考】

◇2025 年度の振り返りと 2026 年度の方針

本年度は、地域プレイヤーの受け皿となるプラットフォーム（BERRY ROOM）を通じて、市民がイベントの企画検討や情報発信に関わる初の試みを行った。参加者数は少数ながらも、“まちの担い手コミュニティ”へと発展しうる芽を確認することができた。

また、鶴間公園ではインクルーシブスポーツ体験などの新たな取り組みを行い、メディア露出を獲得するなど地域ブランディングに資する成果がみられた。さらに、つるまパーク大作戦においては、参画する企業や市民が増加し、まちに関わる主体の広がりを実感する一年となった。

次年度は、本プラットフォームを「市民とともに企画・運営する活動チーム」へと定着させ、まちの定番イベントを市民と協働して育てていく。また、地域プレイヤーが運営主体とつながる機会を創出しながら、段階的に未利用空間の活用にも取り組む。併せて、各助成イベントの成長を踏まえ、地域企業等との協働を見据えた協賛スキームの在り方など、持続可能な資金収集に向けた検討を進める。

◇2025 年度実施事業の概況

（１）資金助成事業

①資金助成に関する事業

- ・助成対象事業における３施設による相互評価・振り返り機会の創出

②資金助成を行った主な活動

活動主体	活動名
一般社団法人まちライブラリー	まちライブラリー@南町田グランベリーパーク運営
TSURUMA パークライフパートナーズ	つるまパーク大作戦・夏休み自由研究大作戦・ ボランティア養成講座・インクルーシブスポーツ体験ほか
東急株式会社	施設間連携支援
株式会社ミュージアム・スタッフ	黒板アートイベント・夏イベント・冬季イルミネーションほか

（２）資金収集・管理事業

①資金収集に関する事業

- ・寄付金募集に向けた告知強化
- ・視察事業の積極的な受け入れ

②資金管理に関する事業

- ・月１回程度顧問税理士との会計定例打合せを実施